

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和4年 2月 1日

事業所名:児童発達支援センター歩路

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員の配置数は適切であるか	○		・丁寧な支援ができるよう心掛けています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・視覚支援等分かりやすいように個人でスペースを分けています。	・今後もお子さまの実態に応じた視覚支援を取り入れながら丁寧な支援に努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・毎日消毒をしています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・チーム会議の場で改善点等を話し合っています。	・昼礼やチーム会議にて、より良い療育を提供できるよう目標設定や振り返りを行います。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・本アンケートを通して把握した内容については、事業所内でも情報共有します。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・自主研修や研修の機会があれば積極的に案内し、参加をしています。 ・積極的に研修に参加する職員も多いです。	・新型コロナウイルスの流行に伴い、インターネットを活用した会議も多く開催され、積極的に参加し、学びの機会へと繋がっています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・個別支援作成会議時に職員間で意見交換をしています。 ・事前に保護者に聞き取りを行ったり、ケース担当、チーフ、児童発達管理責任者と話し合ったりしながら作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・新版K式発達検査2020や絵画語彙検査等のアセスメントツールを活用し、個別支援計画作成にも反映しています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・家庭でもできる支援を提案しています。	・併行通園先の幼稚園・保育園等とも連携を図っています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・定期的にケース担当者が個別支援計画の支援内容、短期目標を確認し、支援の様子について記録に残しています。 ・本人が達成できそうな目標や課題解決につながる支援項目にしています。 ・児童発達管理責任者が支援計画の質を管理しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・チームで指導案作成の会議をすることでより実態にあった内容にしています。 ・毎月、翌月の指導案の内容について、チームで打ち合わせを行っています。また、専門職からの助言があった場合は、随時、内容の変更を行っています。	
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・スモールステップで進んでいけるように活動内容の変化に努めている。 ・チーム会議の場を通して、子ども達が楽しく参加できるような活動を提案している。 ・子ども達が飽きないように気を付ける。 ・年間の療育プログラムを作成し、プログラム内容が偏らないようにしている。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		・公認心理師、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士と協力しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・活動開始前には、主に個別対応してほしい利用者を確認したり、その日の注意事項を確認したりしています。終了時はセラピスト(公認心理師、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士)等も交え、ミーティングをしています。	・引続き、十分な引き継ぎや確認が行える時間の確保に努めます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・子どもの様子について情報共有を行い、次の療育に活かしています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・利用者の特に気になった点を具体的に記憶し、支援に活かせるように伝えています。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・月に1回実施している。	・6ヶ月に1回のモニタリングに加え、定期的に個別支援計画書の内容に応じて、支援できているかどのような変化があったか確認し記録に残しています。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・ペアレントプログラムや関係機関研修会等の実施を行っています。 ・きょうだい児支援も年度内に計画しています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			・現在、対象となるお子さんはいませんが必要に応じて対応致します。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・送迎時の引き継ぎや保育所等訪問支援等を通して、情報共有に努めています。 ・保育所や幼稚園からの見学も受け付け、対応しています。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・かごしま北ネットへの参加や、引き継ぎ書の作成を行い、情報共有を図っています。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・公開療育への参加、開催を行っています。	・今年度は2回、他事業所や幼稚園、保育所等へ案内を出し、関係機関研修会を開催し、職員の交流や学びの場を提供しています。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・今年度は地域の幼稚園より、誘いがあり、行員と一緒に参加させてもらい、子ども達、職員共にとても良い経験となりました。 ・近隣の幼稚園へのイベントに参加し、交流を図っています。	・今年度は近隣の幼稚園のご厚意で園行事に参加させていただきました。とても貴重な経験となりました。今後も地域の方との交流を大切にしていきたいと思っています。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・今年度より、土曜日を開所し、親子療育を実施しています。日頃の子ども様を見ていただく機会となっており、家族が子どもへの関わり方の学びの場ともなっています。	